

研究課題番号	2-1702
研究課題名	パリ協定気候目標と持続可能開発目標の同時実現に向けた気候政策の統合分析
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	144, 550 千円
研究機関名	国立研究開発法人 国立環境研究所
研究代表者名	高橋 潔

1. 評価者の指摘及び提言概要

研究成果は国際的にも発信され、その評価も高く、環境政策への貢献も多大であり、これを高く評価する。

サブテーマ 1 は、さらに 11 の小項目ごとに分けて精緻に検討されており、全球排出経路モデルと世界経済モデルを使って 21 世紀末までの社会経済～持続可能性指標までの統合シナリオを提示するという研究目標を達成している。また、本研究を通じて社会的不公平性について議論するための論点が整理できたという点でも高く評価できる。脱炭素化目標を達成し、同時に飢餓リスクを減らすためには単に将来の食糧を増産するより、現在の南北間の食料配分を少し是正することが有効であるとの S1-9 の指摘は興味深い。3 つのサブテーマに関する研究内容は当初計画に照らして概ね問題のない成果を上げていると判断される。サブテーマ 1 の研究内容は、パリ協定の気候目標を追求していった場合に、食糧飢餓の問題にぶつかる可能性という新たな視点に挑戦しており、その点で評価される。それと比べると、わが国を取り扱ったサブテーマ 2 と 3 は、サブテーマ 1 との連携がわかりにくく分析している内容にサブテーマ 1 のような新しい視点がありません。

2. 評点

総合評点：A